

事務事業マネジメントシート (21年度実績と22年度計画)

22年度予算確定後 平成 22 年 5 月 18 日 作成
 21年度決算把握後 平成 22 年 月 日 作成

事務事業名		中央汚水幹線及び堀川汚水幹線維持管理負担事業				<input type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連								
総合計画体系	政策	2	緑豊かな環境と共生するまちづくり			所属部	水道局	課長名	久留 伸二					
	施策	10	水環境の保全			所属課	上下水道課	担当者名	主事 中山 大志					
	基本事業	28	水質の浄化			所属班	庶務料金班	(内線)	1194					
予算科目	会計	50	款	1	項	1	目	4	事業連番	10230	法令根拠	下水道法	成果優先度評価結果	10
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 21年度で終了 <input type="checkbox"/> 22年度から開始		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 H1 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)		コスト削減優先度評価結果	6							

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】 (開始した背景・きっかけ・今後の状況変化を含む)	熊本北部流域下水道を構成する菊陽町との協定により、中央汚水幹線、堀川汚水幹線及びセミコンテクノパーク汚水中継ポンプ場の維持管理等の経費を負担する。(菊陽町) 昭和57年に熊本県が事業主体となり、合志町、熊本市、菊陽町の3市町による北部流域関連公共下水道事業が始まり、供用開始となった平成元年より旧合志町の一部区域について、汚水を菊陽町の汚水幹線に放流することにより始まった。供用開始より約20年が経過しているため、施設の老朽化が心配される。
【業務の流れ】	中央汚水幹線、堀川汚水幹線及びセミコンテクノパーク汚水中継ポンプ場の維持管理等の経費に係る合志市の負担金の算出、協議、検討、支払事務(経費の負担は計画汚水量による)
【主な予算費目】	負担金補助及び交付金
【意見や要望】 関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	特になし。

1 現状把握の部(DO, PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標	
① 手段(主な活動) 21年度実績(21年度に行った主な活動)(DO)	22年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN)
維持管理等負担金の支出	維持管理等負担金の支出
④活動指標(事務事業の活動量を表す指標)=①の指標	(単位)
⇒ア負担金の額	千円
②対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等	⑤対象指標(対象の大きさを表す指標)=②の指標 (単位)
・ポンプ場及び関連施設	⇒アこの汚水幹線への放流量 m
③意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	⑥成果指標(意図の達成度を表す指標)=③の指標 (単位)
・施設が支障なく稼働できるようにする	⇒アポンプ場及び関連施設の問題案件の報告数 件

*⑥成果指標設定の理由と平成22年度目標値設定の根拠

成果指標について、事業主体が菊陽町であり、中央汚水幹線、堀川汚水幹線及びセミコンテクノパーク汚水中継ポンプ場の問題点については、問題案件の報告という形でしか状況の把握を行えないため、設定は妥当である。目標値については、通常の負担金に加え、セミコンテクノパーク汚水中継ポンプ場の老朽化に伴い平成21年度、平成22年度で中継ポンプ場の建設が予定されているので、その負担分を含め算出している。

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	19年度実績(決算)	20年度実績(決算)	21年度目標(当初予算)	21年度実績(決算)	22年度目標(当初予算)	23年度予定	24年度見込
④ 活動指標	ア 千円		1,242	1,755	2,000	1,758	4,653	2,000	2,000
⑤ 対象指標	ア m ³		1,878,824	1,827,911	1,993,000	2,042,893	2,052,000	2,113,000	2,176,000
⑥ 成果指標	ア 件		0	0	1	1	1	1	0
事業費投入量	国庫支出金	千円							
	都道府県支出金	千円							
	地方債	千円							
	その他	千円	1,242	1,755	2,000	1,758	4,653	2,000	2,000
	繰入金	千円							
	一般財源	千円							
	(A) 事業費計	千円	1,242	1,755	2,000	1,758	4,653	2,000	2,000
(A)のうち指定経費	千円								
(A)のうち時間外、特勤	千円								
正規職員従事人数	人	4	5	5	5	5	5	5	
延べ業務時間	時間	35	35	30	30	30	30	30	
(B)人件費計	千円	139	140	119	119	119	119	119	
トータルコスト(A)+(B)	千円	1,381	1,895	2,119	1,877	4,772	2,119	2,119	

総トータルコスト
全体計画
～ 年度

(期間限定複数年度のみ記載)
0
0
0

合志市

事務事業名	中央汚水幹線及び堀川汚水幹線維持管理 負担事業	所属部	水道局	所属課	上下水道課
-------	----------------------------	-----	-----	-----	-------

2 評価の部 (SEE)

*原則は21年度の事後評価、ただし複数年度事業は21年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①21年度目標達成度評価 事務事業の前年度実績は前年度目標値を達成したか、未達成の場合その原因は？	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した	<input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【理由】 ↷
	②22年度目標達成見込み 事務事業の本年度目標値に対して本年度の見込みはついているか？	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり ⇒【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい ⇒【理由と対策】 ↷
有効性評価	③成果の向上余地 次年度以降にこの事務事業の成果を向上させる余地はあるか？成果が頭打ちになっていないか？	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 ↷
	④類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある ↷ (具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 ↷
効率性評価	⑤事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 ↷
	⑥人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 ↷
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 ↷
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化 事務事業のやり方や手段においてこれまでの行政、市が行ってきた範囲を住民や地域・団体に移行出来ないか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 ↷

3 評価結果の総括 (SEE) ※事務事業全体の振り返り、成果及び反省点等を記入

老朽化により機能低下した施設を計画的に改築更新してもらうことにより、トラブルの発生や補修箇所が減り、円滑な維持管理が出来ると思われるので、協定の相手である菊陽町に要望していく。

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) 老朽化により機能低下した施設を計画的に改築更新してもらうことにより、トラブルの発生や補修箇所が減り、円滑な維持管理が出来ると思われるので、協定の相手である菊陽町に要望していく。	(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)																				
	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>△</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td>△</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上		○		維持			△	低下		
				コスト																	
		削減	維持	増加																	
成果	向上		○																		
	維持			△																	
	低下			△																	

(3) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策

菊陽町の密な情報交換による正確な把握。